



箕輪進修高校 進路指導室

2011. 11. 14

No. 61

進学者はしっかり学力を付けておこう

先日ある短大へ進学した卒業生が進路室を訪ねてきました。その先輩曰く「入る時はたいした準備もせずにこんなに簡単にに入れて良いのかと思ったが、入ってから出るのが大変なことに気が付いた」とのこと。彼は入学後授業が難しくついていけなくなり、夏休み以降他の科に転科させてもらったとのこと。



進学する人は学校推薦や AO 等で比較的すんなりとそれぞれの学校に入学できたと思いますが、入学後にこの先輩のような思いに駆られることが有るでしょう。特に短大や大学へ進学する人にとっては一般入試を通過してきた人と一緒に授業を受けるようになると、**己の力不足に悩む**かもしれません。なぜならば、**一般入試を受ける人達は今現在必死で受験勉強をしているはず**です。方や**何もせずに合格し、のほほんと過ごしている皆さんとの差は歴然**でしょう。

合格できたという喜びに浸っているだけではなく、入学後に**本当に実力を付けていないと、ついていけなくなる**という事態にも陥りかねないことを覚悟しておきましょう。



チャレンジ精神を持つ

世の中には人がうらやむような成功をしている人がいます。そういう人は一般の人とどう違うのでしょうか。「才能」と「運」に恵まれたと言ってしまうかもしれませんが、多くの場合はそれにプラスして**チャレンジすべき時にチャレンジ出来たか否かに関わっている**ように思われます。

多くの人はある局面に立った時、「どうしようか」と迷い、一步を踏み込まずに終わってしまいがちです。例えば、会社を起そうかどうかという場面で、リスクの大きさに二の足を踏んでしまう。仮に会社を起こしても、ある事業に投資をするのか海外へ進出するかという場面で、思いとどまってしまうと、結局は大きな成功をつかめないで終わるということになりがちです。

多少のリスクを恐れず果敢にチャレンジしなければ大きな成功は得られないでしょう。向こう見ずにチャレンジばかりしていても駄目です。当然慎重さは必要です。しかし慎重なだけでは大事は成せません。大きな成功を狙わなくとも、**普段からチャレンジ精神を持つことは大切です。引っ込み思案では駄目です。守りに入ってしまうと、それ以上の成長は望めません。**

人間いつでもどう化けるかわからないもの。特に若いときは小さくまとまろうとせず、チャレンジ精神をもって、前向きに物事に関わりとうとする思いはいつも心に秘めていて欲しいものです。そしてチャレンジすべきタイミングを捉え、果敢にチャレンジする決断力を持ちたいものです。

もとより大成功を取られる人はごく一部の限られた人でしょう。しかし、大成功などと言わないまでも、**自分のやってみたくと思ったことにチャレンジして後悔するか、チャレンジしないで後悔するか。あなたならどちらを選びますか。**

一番危険なことは

チャレンジすべきタイミングに
チャレンジしなくなること

(谷岡一郎)

